

令和2年度 後期学校評価報告

花園小学校では、保護者の皆様にご協力いただき、「子ども達の生活をよりよいものにする」ことを目指して自らを振り返り、互いに高め合う趣旨で自己評価の調査を行いました。今年度後期の調査は1月に実施いたしました。保護者の皆様の自己評価調査は97.2%という前期(96.2%)よりもさらに高い回収率となりました。ご協力ありがとうございました。

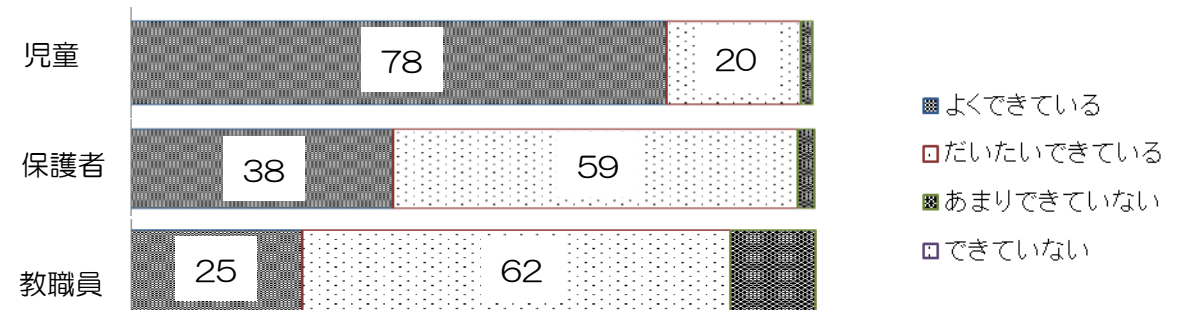
学校教育目標に照らし合わせ、「児童」「保護者」「教職員」それぞれの立場でそれぞれの関わりを自己評価するという形でアンケートを行い、その結果を7月に行った前期評価と比較しながら現状を把握し、今後の学校の取組に活かしていく視点で分析・考察をしましたのでご報告いたします。

アンケート集計結果(数字は%)

子ども達の生活を よりよいものに 自らを振り返り、互いに高め合う			よくできている			だいたいできている			あまりできていない			できていない		
			児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員
生活面	1	進んで挨拶をする	51	34	67	37	60	33	10	6	0	2	0	0
	2	先生に相談する	36	30	50	39	57	41	17	12	9	8	1	0
	3	自分のよいところが言える	31	26	46	36	64	46	21	10	8	12	0	0
	4	友達を大切にし、仲良くする	78	38	25	20	59	62	2	3	13	0	0	0
	5	忘れ物がない	36	22	17	49	60	77	13	17	6	2	1	0
	6	係や当番の仕事を最後までする	68	9	24	28	44	66	3	44	10	1	3	0
	7	後片付けできる	60	13	23	33	57	68	6	29	9	1	1	0
学習面	8	授業がよくわかる	57	27	16	37	61	73	4	11	11	2	1	0
	9	話を最後まできく	57	21	35	34	69	45	7	9	20	2	1	0
	10	進んで発表する	33	12	25	36	43	55	24	41	20	7	4	0
	11	家庭学習を進んでする	52	27	26	32	59	53	13	13	21	3	1	0
	12	本をよく読む	45	20	20	30	37	40	18	39	40	7	4	0
	13	花園小の地域が好き	64	8	6	27	39	28	7	47	60	2	6	6

4 友達を大切にし、仲良くしている(児童)

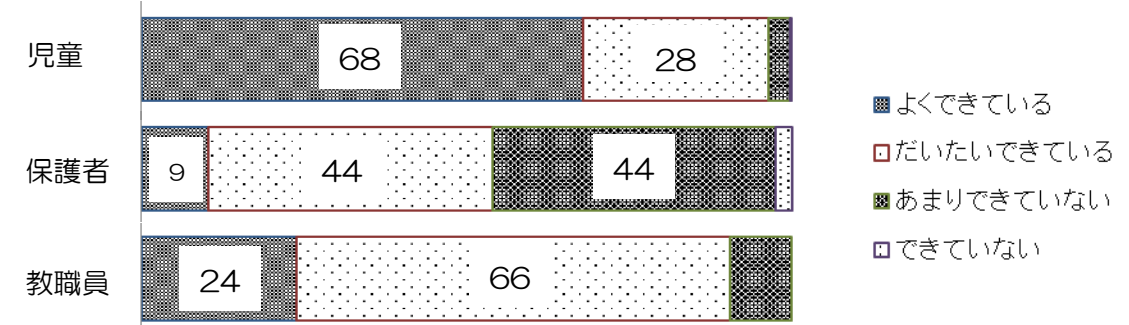
わが家では、わが子が友達を大切にし、仲良くするにはたらきかけている(保護者)
児童が友達を大切にし、仲良くできる学級づくりに取り組んでいる(教職員)



学校の目指す子ども像「相手とよりよく関わり、主体的に学ぶ子」。多様な考え方をもち子ども達が、お互い認め合い支え合う力を高めてほしいと花園小学校では考えています。自己評価では子ども達のほぼ100%が友達を大切にしている、と答えています。また、保護者の皆様の関わりも同様となっています。教職員は学年末に向け、子ども達への指導支援を引き続き行っています。学校、保護者の皆様とでこれからも協力しながら子ども達を支えていきたいと思っています。

6 係や掃除・給食当番の仕事を最後までできている(児童)

わが家では、わが子が掃除や後片付けの習慣がつくように役割を決めている(保護者)
児童が係や当番の仕事を最後までできるようにしたらきかけている(教職員)

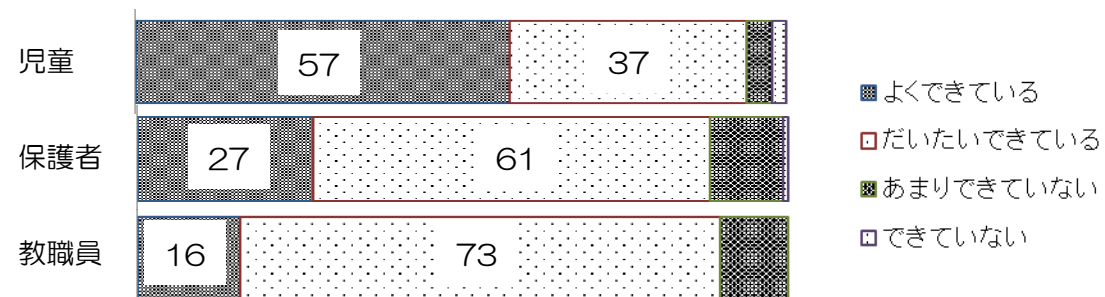


目指す子ども像「目標をもって最後まで努力する子」に関連する項目です。ほぼ100%の児童が自分の仕事を最後までできていると答えています。教職員は90%がはたらきかけていると答えています。保護者の皆様の自己評価では44%があまりできていない、という回答となっており、前期も同じような結果でした。子ども達が自分の役割について最後まで取り組み、達成感や自己有用感を高めていくため、できることからご家庭でも何か役割を与えて、取り組ませてみてください。お子様が、がんばったときは労いや褒めてあげることもお願いします。

8 授業がよくわかる（児童）

わが子は、授業がわかりやすいと言っている（保護者）

児童がよくわかるよう教材研究をして授業を行っている（教職員）

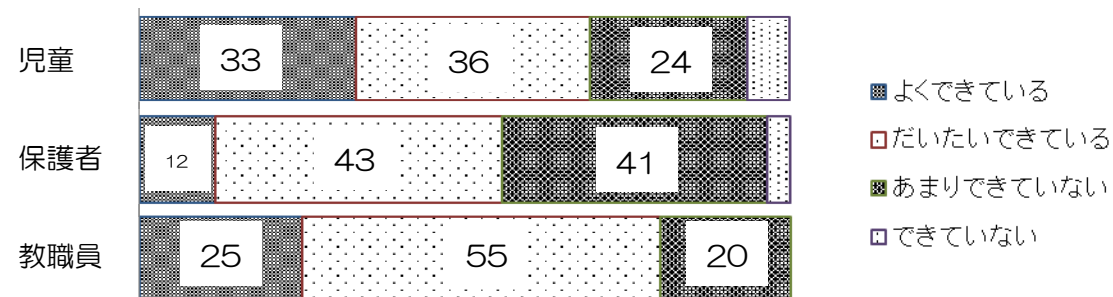


自己評価の結果からは、子ども達の半数以上は、毎日の授業が「よくわかる」と答えています。「わかる」を加えると9割以上の子ども達は、授業が「わかる」と答えています。しかし教員は、教材研究を「よくできている」が16%、「だいたいできている」は73%でした。コロナ禍で、今年度は今までとは違う学習をすすめてきましたが、新しい学習指導要領が示す「主体的・対話的で深い学び」の実現のため、「わかる」だけでなく「わかることでできる」力をつけるため、よりよい授業づくりにこれからも取り組んでいきたいと思います。

10 授業中、自分から進んで発表している（児童）

わが子に授業中、進んで発表するよう励ましている（保護者）

児童が授業中、進んで発表するよう働きかけている（教職員）

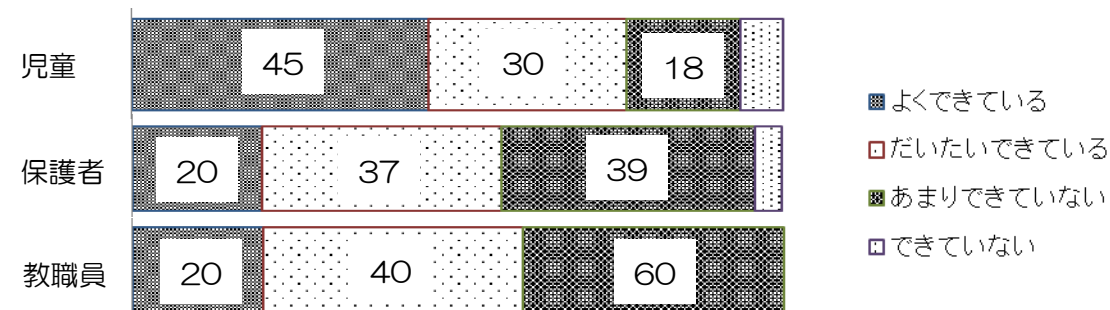


前期と同じ項目を選びました。結果も同じようなものになっています。ここからは、子ども達が、授業の中で自分の考えや思いを進んで表現することが十分でないことが読み取れます。コロナ禍で、言語等による表現活動はかなり制限されているため、あくまで参考として捉えるのがよいかもしれませんが、自分の考えを表現することは、学習のみならず生活の中で大切な力につながります。教職員は子ども達が進んで表現できるようなはたらきかけを今後も引き続きすすめてまいりますので、保護者の皆様から子ども達に自分の考えや思いを進んで表現するよう支援してください。どうぞご協力をお願いします。

12 本をよく読んでいる（児童）

わが子が本をよく読むようにすすめている（保護者）

児童に読書の習慣が定着するようはたらきかけている（教職員）



花園小学校では、学習以外でも読書活動がさかんに行われています。75%の児童が「よくできている」「だいたいできている」と答えていました。読書活動は、言葉の力を高めるだけでなく、自分の世界を広げてくれます。学校では引き続き様々な分野で子ども達の興味・関心を高め、生活・学びにつなげていくための取組をすすめていきます。保護者の皆様も親子読書の日などを活用していただきながら、子ども達が積極的に読書活動に取り組むことができるようご支援をお願いします。また、PTA図書ボランティア活動につきましては、お忙しい中ご協力くださいましてありがとうございます。今後もどうぞよろしくお願いいたします。

保護者の皆様にはその他にご意見等を頂戴しました。皆様からのご意見は、今後の学校運営の参考にさせていただきます。日頃の学校の様子はもちろん、各学年の取組や活動の様子についてホームページ等を活用して今後もできるだけ皆様にお伝えできるよう努めてまいります。どうぞご覧ください。

京都市立花園小学校



学校評価アンケート集計結果から

学校評価アンケートは、それぞれのお立場での自己評価を通し振り返ることで、それぞれ大切にすることが明確になり、それを実現していくことが子ども達の変容へとつながっていきます。今回のアンケートでは、質問によっては、学校教育目標の具現化に向けてまだまだ十分ではないものも見られました。

これからも家庭と地域との連携を大切にしながら一人一人の子どもを大切にする取組をすすめていきたいと考えています。今後ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

皆様から頂いた学校評価アンケートをもとに、これからの学校運営に活かしていきます。そして、保護者・地域の皆様とのさらなる連携を深めて取り組んでいきたいと考えております。今回はアンケートへのご協力ありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。